

拠点名称：誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点

代表機関	慶應義塾大学	プロジェクトリーダー	中村 雅也 慶應義塾大学 医学部 教授
参画機関	東京医科歯科大学、理化学研究所、東京工業大学 株式会社電通国際情報サービス、i2medical 合同会社、アサヒ飲料株式会社、味の素株式会社、ESRI ジャパン株式会社、株式会社イー・ライフ、株式会社グレースイメージング、国際航業株式会社、JSR 株式会社、住友ファーマ株式会社、株式会社デジタルガレージ、株式会社電通、株式会社電通サイエンスジャム、日本電信電話株式会社、株式会社ベネッセスタイルケア、株式会社ヘルスケアソリューションズ、三井住友海上火災保険株式会社、三井不動産株式会社、ミネバアミツミ株式会社、一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)、ライフログテクノロジー株式会社、東京都、神奈川県、川崎市、豊島区		

プロジェクトの概要

高齢化・核家族化は都市圏で特に顕著であり、「孤立しがちな個人」や「病気や怪我の治療後に残る個人・家族の負担」が社会課題として顕在化している。本拠点ではアカデミアと企業が持つ知と技術を結集して構築するサイエンスナレッジ・データ基盤を活用し異分野融合研究を展開する。そして、そこで創出される様々なセンシング技術やAI解析によるアルゴリズムにより、治療後の悩みを抱える個人・家族に寄り添うサービスを開発し社会実装する。

本拠点に賛同する産学公民によるヘルスコモンズコンソーシアムを組成する。多様な人々が集まり、自治体や企業との連携、起業等を進めることにより、知識・技術・アイデアから社会的価値を創出し、社会実証研究で効果・影響をSDGsの観点からも評価・検証し、これらのサービスを市民に幅広く展開する。医療・介護・ヘルスケアをシームレスに結び、治療後の悩みを抱える個人・家族が必要な時に適切なおところに繋がり、見守られ、安心と生きがいを持って、自身の生活を豊かに暮らせる共生社会の実現を目指す。

